



フォレスターうじ 会報

みんながまた行きたいと思う天ヶ瀬森林公園を目指して

森林ボランティア フォレスターうじ ホームページ:<https://forester.foresteruji.org>

第330号

令和8年

8月1日発行

七月定例活動

伐倒講習会、木工作品作り、

夏原グラント助成事業の説明、他

活動日 七月十九日(日) 晴

活動時間 九時三十分～十四時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員 十二名

連日の猛暑、森林公園の中は心持ち暑さがマシンではと期待してやって来たものの、やっぱり暑かった。この暑さにめげず集まってくれた仲間感謝。

林会長からの連絡事項では、十月十七日にコカ・コーラの要請で宇治田原町の御林山で木工体験の臨時活動、十月二十四日に宇治橋通り商店街で例年のわんさかフェスタに協力する特別活動、などを行なうとのこと。そして、八月の定例活動は第四日曜日の二十三日に変更すること。また、アクト・パル宇治のどんぐりプロジェクトの森での鹿の食害調査にアクト・パル宇治が申請したことへの報告もあった。

午前の活動では、精鋭部隊五人が伐倒講習会を行なった。京都大作戦の森の北側のモミジの道で日光を遮っていた三十五cm径のヒノキを手鋸で伐倒、ロープかけ、チルホール、追い口・受け口の講習を行なった。残りの会員は大人気で注文殺到の鯉のぼりの制作、そして倉庫の整理を行なった。いずれにしても暑さでしんどさ倍増の作業だった。

昼からは夏原グラントの助成事業としての子ども対象の自然体験会、十一月の本会研修会、九月定例活動の内容、定観測のやり方の話し合いを行なった。十一月の研修会の行き先は藤原会員からの提案で森林総合研究所関西支所に決定、日程は先方の都合で十一月の平日となった。九月定例活動は久保田会員主導で巣箱、エサ台を会員で作成することとなった。夏原グラントの事業、定観測については持ち越し、協議を続けることとなった。

(記 木曾 宗統)



伐倒講習会



伐倒後の切り株

「倉庫内の整理と保管場所の表示」
工具等を保管している倉庫(A・C)内の整理と保管場所(棚)の表示等の見直し作業を行いました。

主な整理点は、次の三点です。

- ① 保管倉庫の色別表示
(A倉庫が青色B倉庫が赤色C倉庫が緑)
- ② 工具等の保管棚を「番号」で区画表示
- ③ 工具箱等に、在中する工具等を明示

まだ作業の途中段階ですが、今後、わかりやすいよう工夫していきたいと思っておりますので、アイデアがありましたらご教示をお願いします。

一方、これまでもお願いしていますが、工具類は、丁寧に取り扱いいただき、取り出された元の場所に、必ず戻していただきますようお願い致します。また、不具合や破損などが発生しましたらお知らせいただきますようお願い致します。

(記 岡本 浩一)

臨時活動

フジバカマと苗木の水やり

活動日 七月二十六日(日)

晴れ

活動時間 九時三十分〜十一時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 一名

猛暑日が続く、雨が降っていないため、今年植えたフジバカマと苗木に水やりを行った。フジバカマのトイレ側はまずまず順調、北側は育ちがよくな

く、環境整備を検討した方がよさそうです。
(記 林 幸広)



フジバカマ (トイレ側)



フジバカマ (北側)

エッセイ

琵琶湖博物館へ行く

七月十五日帰省中の長女と琵琶湖博物館を訪れた。娘は琵琶湖にしかない魚が見たいようだ。淡水魚の大水槽にいるビワコオオナマズが悠々と泳ぐ姿に見入っていた。

展示を巡る中で特に印象的だったのが、古代湖の魚類進化コーナーだ。琵琶湖やタンガンニカ湖のシクリッド(カワスズメ科魚類の総称)は地味な色彩が多いが、マラウイ湖のシクリッドは熱帯魚の様に鮮やかで驚いた。説明によれば、マラウイ湖では透明度が高く、光が深くまで届くため、オスが派手な体色でメスにアピールする「性淘汰」が強く働いたことで色彩の多様化を促したという。琵琶湖、タンガンニカ湖は濁度が高く、環境への適応が優先され、地味な体色となったらしい。

古代の漁具や生活道具を眺めながら、湖と人の歴史を語り合い、最後に水辺植物園を散策し草花の写真を撮り、琵琶湖カレー(ライスが琵琶湖の型)を食し、博物館を後にした。長女との有意義な一日だった。

(記 隅田 芳男)



琵琶湖博物館

今後の活動の案内

令和八年

八月二十三日(日) 定例活動 天ヶ瀬森林公園

会員募集のお知らせ

フォレストランテアうじはいつでも会員募集中。

先ずは一日体験からどうぞ。事務局までご連絡下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

(会報担当 田中一夫)

森林ボランティア フォレストランテアうじ

事務局 林 幸広 方

TEL 〇九〇―三二八〇―五五九五

